



令和7年度 浜須賀中学校 グランドデザイン ～幸せで意義ある人生を生きるための力を育成する～

<目指す生徒像> 多様な他との関わりの中で自己を形成し社会に貢献できる生徒
～つきたい力～

- ◇言語や情報をつかいこなす力
 - 様々な場面で言葉や技能を使いこなす
 - 信頼できる知識や情報を収集し、有効に活用する
- ◇多様な集団で協働する力
 - 他者の立場で物事を考える
 - 意見の対立や理解の相違を解決する
 - 目標を達成するために他者と協働する
- ◇自律的に活動する力
 - 感情をコントロールする
 - 見通しをもって計画的に行動する

〔学校教育目標〕

- **自律**…自分で考え、判断して、行動する
- **共育**…多様な他者と関わり、共に育つ
- **貢献**…自らの力を生かし、社会に貢献する

<目指す教師像> 人をつくるのは人

- 自ら考え、学び、成長し続ける教師
- 多様な考えを受け入れ協働できる教師
- 教育を通して社会に貢献できる教師



確かな学力

目標

- 知識・技能の定着
- 主体的・協働的に問題を発見し解決する思考力・判断力・表現力の育成

具体的取組

- 校内研究会等による授業改善
 - ・浜スタフランの確立
 - ・お互いの授業を見合う週間
 - ・生徒インタビュー
- 個に応じた学習指導の充実
 - ・タブレット等 ICT の活用
- 学び方の習得
 - ・ノートの取り方、思考ツール等
- Team Teachingによる丁寧な指導

豊かな心

目標

- インクルーシブ教育の推進
- 特別な教科「道徳」の充実
- 主体的な活動の推進
- 教育相談体制の充実

具体的取組

- 授業研究会や講師による研修
- 生徒主体の行事運営
 - ・体育祭、合唱大会、学年行事等
- いじめ防止活動の見直し
- 生徒会活動の創意工夫と活性化
- 読書活動の推進 朝読書や開き読み
- 年2回の教育相談期間
- 主体的な部活動への転換

健やかな体

目標

- 健康で安全な生活や環境への意識向上

具体的取組

- 養護教諭による保健指導
 - ・保健だよりの発行
 - ・感染症、熱中症等の予防
- 食育の推進 食育の日
- 環境教育 スクールエコアクション
- 各種安全教室の実施
 - ・交通安全教室
 - ・薬物乱用防止教室
 - ・情報モラル教室
 - ・救急救命講習

学校評価・自己評価

○学校運営協議員さんからの評価
・学校運営協議会での協議

○学力・学習状況調査
・3年間の教育活動の分析
当該学年の特徴
経年変化からみる教育効果
教科担当の学習指導の充実

○学校評価アンケート
・1年間の教育活動の分析
各学年の特徴
本校の教育活動への満足度

○提案授業における授業評価
・生徒インタビューで授業評価

○学年代表者会での評価
・年5回の代表者会でのご意見

○教職員自己評価
・分掌、学年、教科等

質の高い組織運営の実現

◇OJTによる個々のスキルアップ

- 各教育活動の目的の意識化
 - ・分掌や学年、職員全体での確認
- 子どもの発達への理解
 - ・特別支援研修の実施
 - ・支援会議の充実（週1回）
 - ・小学校との連携
 - ・SC・外部機関との連携
- 授業力の向上
 - ・単元計画を生かした授業づくり
 - ・個人の目標設定とふりかえりの充実
 - ・提案授業でのグループ研究
 - ・スーパーバイザーからの指導、助言
 - ・評価に関する研修会の実施
- 学級経営・生活指導技術の向上
 - ・ケーススタディによる具体的対応
 - ・書物や外部研修からの学び

◇組織的な学校運営の実現

- 報告、連絡、相談の徹底
 - ・気づきは必ず複数で共有
 - ・迅速な報告と対応の徹底
 - ・諸会議の精選と効率化
 - ・ケース会議の活用
- 不登校、いじめ、生徒支援・生徒指導
- コスト意識の高揚（時間・経費）

◇服務規律の徹底とマナーの向上

- 法令の遵守（体罰・個人情報、他）
- 接客能力の向上（電話・来客対応）

特別支援教育

目標

- 特別支援学級の教育課程の充実
- 特別支援教育の充実

具体的取組

- 個別支援計画の工夫、改善
 - ・自立活動の充実
 - ・保護者との密な連携
- 不登校の未然防止→居場所づくり
 - ・個に応じた指導、支援の充実
 - ・SR（スペシャルルーム）
 - ・外部機関との連携
 - ・SC、SSWとの連携

キャリア教育

目標

- 3年間を見通したキャリア教育の推進

具体的取組

- 様々な場面で働く大人にふれる
 - ・1年 外部講師による授業
 - ・2年 職場体験
 - ・3年 模擬面接等
- ボランティア活動への参加
 - ・ボランティアカードの活用

防災教育

目標

- 30年以内にかかる確率80%以上の地震に備えた生き延びる力の育成

具体的取組

- 避難訓練の多様化と工夫（年4回）
 - ・自分事としてとらえる訓練方法の改善
- 地域と連携した防災訓練
 - ・6校連携引き取り訓練の実施
 - ・主体的な参加の促進

チーム学校

関係機関の力 = 相談・連携・支援
S.C SSW 児童相談所 こども家庭センター 近隣の小・中・高校・特別支援学校等

地域・保護者の力 = 情報共有・見守り・行事参加・多様な居場所づくり
学年代表者 学校運営協議会 自治会 推進協 民生委員 主任児童委員 青少年指導員等

社会に開かれた学校